

## 株式市場概況

先週の動き（10月26日～10月30日）

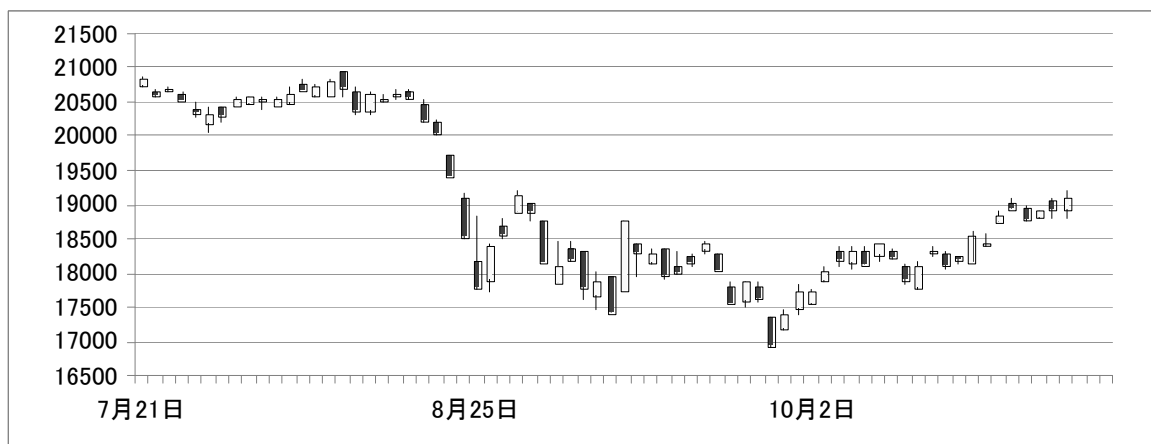
23日の夜、中国人民銀行が政策金利の0.25%の引き下げと銀行の預金準備率の引き下げを発表した。それを受けて米国株市場は大幅に上昇し、CMEの日経平均先物も日本の引け値から340円高の19,140円まで上昇した。

先週の日経平均株価は19,000円を超えて取引を開始したが、19,000円以上では戻り売りから、上値を抑えられ、引けでは19,000円を割り込む展開が継続した。

金曜日に開かれていた日銀政策決定会合では、予想通り政策の現状維持が発表された（12時22分）。これによって一旦、日経平均株価は下落したものの、新聞のウェブに補正予算3兆円超との報道が出たため切り替えした。週末の日経平均株価は前週比+1.37%の19,083円となった。

注目されたFOMCでは予想通り政策変更はなかったが、年内の利上げの可能性を再度、示唆した。市場では年内の利上げの可能性は低いと見られていたが、その可能性を織り込み始めた。

## 日経平均株価（2015年7月21日～）



セクター別の上昇率上位は医薬品、精密機器、空運となった。下落率上位はその他製品、海運、鉱業だった。その他製品は時価総額トップの任天堂が予想を下回る決算と、スマホゲームへの算入時期が遅れるとの発表の影響を受けた。海運は主要企業の業績の下方修正、鉱業は原油価格の下落が足を引っ張った。

セクター別では前週下落トップだったマザーズ指数が上昇率トップとなった。

表1. セクター、スタイル・インデックス動向

セクター動向（先週末比）		各種国内株式指数動向（先週末比）	
医薬品	6.31%	マザーズ	2.11%
精密機器	5.61%	TOPIX	0.67%
空運	4.50%	REIT指数	1.54%
化学	2.34%	TOPIXグロース	1.51%
サービス業	1.80%	TOPIXL70	0.48%
パルプ紙	1.45%	日経平均株価	1.37%
その他製品	-5.20%	TOPIXスモール	0.47%
海運	-4.50%	ミッド400	0.89%
鉱業	-3.76%	TOPIXバリュー	-0.16%
鉄鋼	-3.36%	東証2部	0.81%
証券商品先物	-2.38%		
非鉄金属	-1.91%		

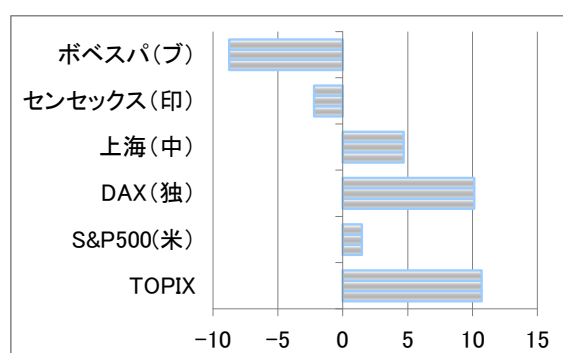
## 今後の注目点

先週は補正予算の観測報道もあり、抵抗帯となっていた日経平均株価の 19,000 円を超えてきた。目先は相場の過熱感を示す騰落レシオが 137 と高水準になっているため、一旦調整が必要にも見える。また、大手企業の業績下方修正が目立つため、TOPIX の予想 EPS も低下傾向にあることから、一旦日柄整理が必要だろう。

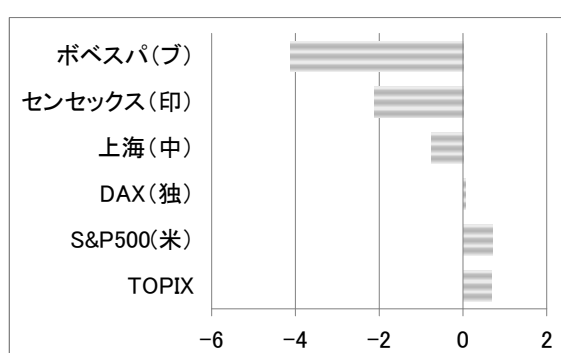
今週は 4 日に注目の大型 IPO である郵政三社が上場する。

## 資料 各国株価動向

年初来上昇率 (% 値は30日引け時点)



前週末比 (% 値は30日引け時点)



## 株式市場需給動向 (10月4週 : 10月19日~10月23日)

10月4週の投資主体別売買動向は個人と都銀・地銀が売り越し、買い越しは海外投資家、信託銀行となった。裁定買い残高は 1637 億円の増加、信用買い残高は 1304 億円の減少となった。信用買い残高の評価損益率は -10.2% と約 1% の改善となった。

投資主体別売買動向 (2015年10月4週)

	現物 (億円)	先物 (億円)	差引 (億円)
自己	806.11	-687.64	118.47
委託	-653.77	610.47	-43.30
自己・委託合計	152.34	-77.17	75.18
法人	1599.25	-266.65	1332.60
個人	-3887.90	-401.57	-4289.48
海外投資家	1882.06	1307.39	3189.45
証券会社	-247.18	-28.69	-275.87
投資信託	-377.25	483.62	106.37
事業法人	126.71	-53.73	72.98
その他法人	66.32	-5.87	60.46
金融	1783.46	-690.67	1092.79
生保・損保	-176.46	54.77	-121.69
都銀・地銀	-100.02	-702.88	-802.90
信託銀行	2079.98	-51.63	2028.35
その他金融機関	-20.04	9.07	-10.97

---

(価格データはブルームバーグによる)

光世証券 小川 英幸

---

本資料は、情報提供のみを目的として作成したもので、いかなる有価証券等の売買の勧誘を目的としたものではありません。また、一般的あるいは特定の投資助言を行うものでもありません。本資料は、信頼できると判断した情報源から入手した情報・データ等をもとに作成しておりますが、これらの情報・データ等また本資料の内容の正確性、適時性、完全性等を保証するものではありません。情報が不完全な場合または要約されている場合もあります。本資料に掲載されたデータ・統計等のうち作成者・出所が明記されていないものは、当社により作成されたものです。本資料に掲載された見解や予測は、本資料作成時のものであり予告なしに変更されます。運用方針・資産配分等は、参考情報であり予告なしに変更されます。過去の実績は将来の成果を予測あるいは保証するものではありません。

光世証券株式会社 金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第14号 加入協会/日本証券業協会

---